

謹賀 年頭のご



新年明けましておめでとうございませう。

令和四年の新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、町議会に対するご理解とご支援に心よりお礼を申し上げます。

一昨年以來、猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活スタイルはもとより、町政全般における取組みも変わってきています。感染症対策と地域経済の活性化対策を両立させるための対応が、とても難

しい一年だったのではないのでしょうか。昨年末にかけては、幾分収束の兆しが見えてきたものの、新たな変異株の出現などにより、まだまだ予断を許さない状況が続きます。

町議会におきましても、コロナ禍の影響により、昨年予定していましたが、市民の皆様との意見交換会を実施することができず、歯がゆい思いをしています。一方で中学生を対象とした「こども議会」は二年ぶりに開催することができ、幌延っ子たちの意見を聞く機会を得ることができました。質問内容は、本広報誌13ページからの議会だよりに詳細を掲載しておりますが、学校の存続や街路灯設置、福祉・スポーツ・公園・キャンプ場施設の充実、道の駅や町外者向け住宅の建設、特産品開発、企業誘致など多岐にわたっ

ており、その着眼点には目を見張るものがあります。しかし、その質問の根幹には、すべからく町の人口減少・観光人口の流入といった、過疎地域における課題としての本質があるように感じました。

今、わが国は人口減少時代を迎え、幌延町も人口減少に歯止めがかからない状況が続いております。特に高齢者などの転出といった課題を解決していくために、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現が急務であると考えています。そのためには、行政の対策はもとより、町民皆さまのお知恵とお力添えが不可欠であります。私たち議会議員も、皆さまの声を町政に反映すべく、行政と皆さまの架け橋となれるよう努力し、皆さまが住んでいてよかったです、これからも住み続けていきたい

と思えるまち「幌延町」を町長と共に築き上げていきたいと思っております。

本年は野々村町政第二期の最終年であり、これまで取組んできた政策を昇華させる年でもありません。昨年は、私達議会議員にとりましても長年の懸案でありました生活交通の課題が一歩前進し、ハイヤー助成制度が創設されました。今後、この制度のみならず、さまざまな町の制度をより充実した形にするためにも、議会での議論を通じ、是非々々で本町発展のため議員一同努力して参りますので、皆さまのご支援、ご指導をお願いいたします。

結びになりますが、町民皆さまの本年のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和四年元旦

幌延町議会議長 高橋 秀之